

予 算 要 求 資 料

令和 5 年度 5 月 補正 予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】 肥料高騰対策機械等整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 水田経営係 電話番号：058-272-1111(内4117)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 260,219 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|---------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 260,219 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 260,219 |
| 決定額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

世界的な穀物需要の増加や、ウクライナ情勢の影響等により、大半を輸入に頼っている化学肥料原料価格が大幅に上昇しており、国内においても特に令和 4 年 6 月以降の肥料価格が著しく高騰している。

肥料高騰の影響を受けている農業者等に対して、地域資源であるたい肥・緑肥、食品廃棄物等の活用による化学肥料低減に必要な機械・施設の導入支援を行うことで、化学肥料主体の栽培体系から転換を図り、経営体質の改善を進める。

(2) 事業内容

化学肥料低減の取組みに向け、地域内資源であるたい肥・緑肥・食品廃棄物等の活用に必要な機械・施設の導入経費を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：1 / 2 以内

農業者等が取り組む地域内資源の活用による、化学肥料低減に向けた取組を、強力かつ緊急的に支援する必要がある。

(4) 類似事業の有無

国庫事業：産地生産基盤パワーアップ事業（基金事業）

県事業：元気な農業産地構造改革支援事業費補助金

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|---------|-------------------------------------|
| 補助金 | 260,219 | 地域内資源の活用による、化学肥料低減に必要な機械・施設導入にかかる経費 |
| 合計 | 260,219 | |

決定額の考え方

化学肥料低減に必要な機械・施設の導入については昨年度支援済のため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 他県の状況

無

(3) 後年度の財政負担

肥料価格高騰対策のため、単年度事業とする

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業実施主体：農業経営体等（個人、法人、農業組織、農業協同組合等）
- ・肥料高騰の影響を受けている農業者に対し、化学肥料の削減に向け、地域内資源であるたい肥・緑肥・食品廃棄物の活用に必要な機械・施設の導入に支援することで、経営体質の改善を進めるものであり、その支援は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
取組農家における、地域内資源の活用による化学肥料使用量低減の取組の確実な実施

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R4) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R5) | 達成率 |
|----------------|---------------|------------|------------|------------|--------------|------|
| | | | | | | |
| ①取組メニュー の実施 | 0 | / | / | 100 | 100 | 100% |
| ② | / | / | / | / | / | / |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|--|
| 令和 2 年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> |
| 令和 3 年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和 4 年度 | <p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p> | |
| <p>(評価)</p> <p>3</p> | <p>肥料価格高騰の影響を受けている農業者等が、地域内資源の活用により経営改善を図るためには、機械・施設の導入を必要とする場合がある。肥料高騰も含め、物価高騰の影響を受け、厳しい農業経営状況にあることから、取組を推進するうえで負担となる機械等の導入支援が必要である。</p> |
| <p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| <p>(評価)</p> | |
| <p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p> | |
| <p>(評価)</p> | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 肥料価格高騰の影響を受けにくい経営体質への改善を進める必要がある。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 肥料価格高騰対策のため、単年度事業とする</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|---|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | <p>【〇〇課】</p> |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |

県単独補助金事業評価調書

| |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

(事業内容)

| | |
|------------------|---|
| 補助事業名 | 肥料高騰対策機械等整備事業費補助金 |
| 補助事業者（団体） | 農業経営体等（個人、法人、農業組織、農業協同組合等） （理由） 地域内資源を活用し、輸入原材料主体の化学肥料からの転換を図る取組を支援し、経営体質の転換を進める必要があるため。 |
| 補助事業の概要 | （目的） 肥料価格等に左右されない農業経営とするため、地域内資源の活用により、化学肥料使用量の低減を図る （内容） 地域内資源を活用することにより、化学肥料からの転換を行う取組に必要な機械・施設の導入経費を補助する。 |
| 補助率・補助単価等 | 定率 （内容） 補助率 1 / 2 以内 （理由） 各農業経営体等が取り組む地域資源の活用による化学肥料低減の取組を強力かつ緊急的に支援する必要がある。 |
| 補助効果 | 肥料価格高騰の影響を受けにくい経営体質に改善され、環境負荷軽減を含めた持続可能な農業の実現につながる。 |
| 終期の設定 | 終期 令和5年度 当面の肥料価格高騰への対策のため。 |

(事業目標)

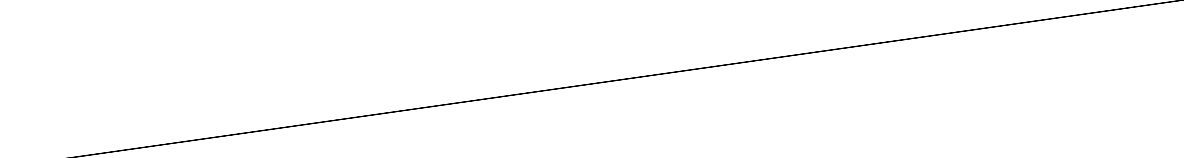
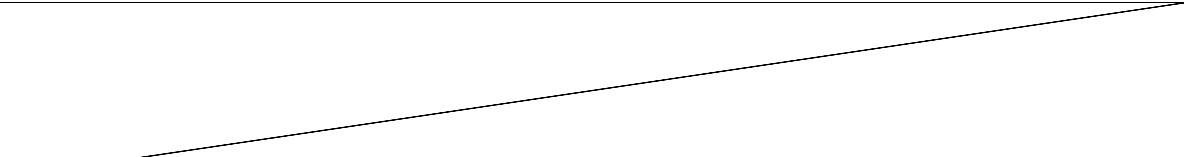
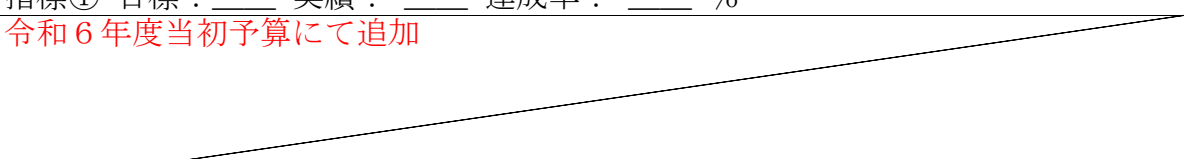
| |
|--|
| <p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>取組農家における、地域内資源の活用による化学肥料使用量低減の取組の確実な実施</p> |
|--|

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業開始前 (R4) | R3年度実績 | R4年度目標 | R5年度目標 | 終期目標 (R5) | 達成率 |
|-----|------------|--------|--------|--------|-----------|-----|
| | 取組メニューの実施 | 0% | / | / | 100% | |

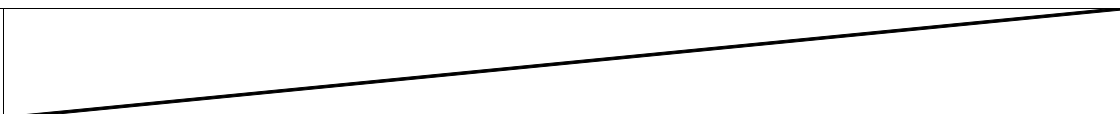
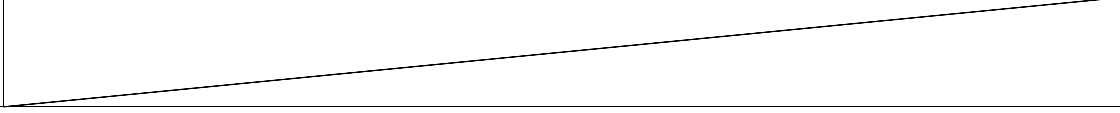
| | | | |
|--------------------|------|------|------|
| 補助金交付実績 (単位：千円) | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
| | / | / | / |

(これまでの取組内容と成果)

| | |
|---------------|--|
| 令和 2 年度 |  |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 3 年度 |  |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 4 年度 |  |
| | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

| | |
|---|---|
| <p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) 3 | <p>肥料価格高騰の影響を受けている農業者等が、地域内資源の活用により経営改善を図るためには、機械・施設の導入を必要とするものがある。肥料高騰も含め、物価高騰の影響を受け、厳しい農業経営状況にあることから、取組を推進するうえで負担となる機械等の導入費用支援が必要である。</p> |
| <p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p> | |
| (評価) |  |
| <p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) |  |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 肥料価格高騰の影響を受けにくい経営体質への改善を進める必要がある。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 肥料価格高騰対策のため、単年度事業とする</p> |
|--|